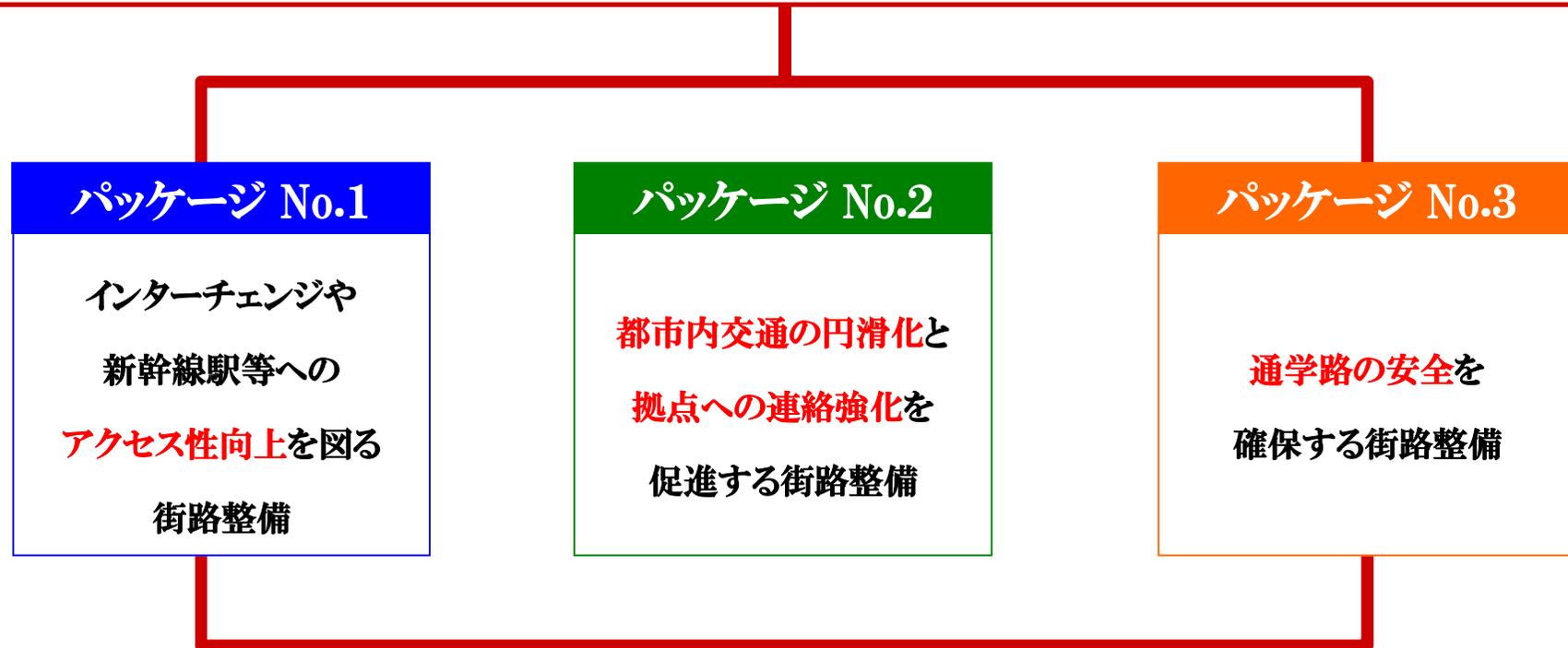


社会資本整備総合交付金事業(H31~R5)



指標を用いた達成目標

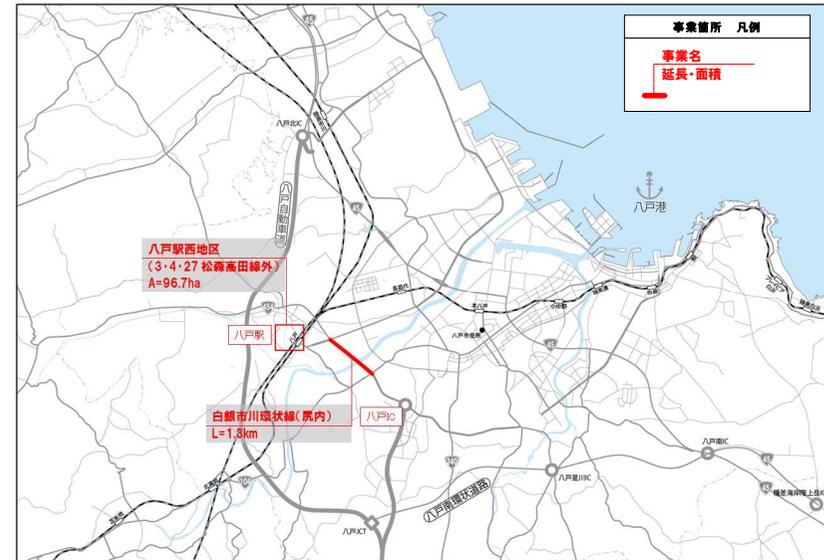
- 主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大
- 市街地内の通学路の安全性を向上させる

※街路…市街地における都市計画決定された道路

パッケージNo. 1 インターチェンジや新幹線駅等へのアクセス性向上を図る街路整備

■対象地域	青森県、八戸市				
■事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・東北新幹線八戸駅へのアクセス性向上と都市内交通ネットワークの形成を図る ・東北縦貫自動車道八戸ICへのアクセス性向上と都市内交通ネットワークの形成を図る 				
■事業の成果目標	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大				
■成果目標の定義	<p>①主要な交通拠点(東北新幹線八戸駅)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。</p> <p>②主要な交通拠点(東北縦貫自動車道八戸IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積又は用途地域面積の割合。</p>				
■アウトカム指標の算定式	(拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積／市街化区域面積)×100				
■指標の現況値及び目標値		H31当初	中間目標値(R3末)		達成度 (実績/計画)
			計画	実績	
	①	4.3%	4.3%	4.3%	100.0%
②	15.9%	15.9%	15.9%	15.9%	100.0%
■対象とする事業	街路事業、土地区画整理事業				
■主な路線	3・3・8号 白銀市川環状線(尻内)、 八戸駅西地区(3・4・27号松森高田線外)				

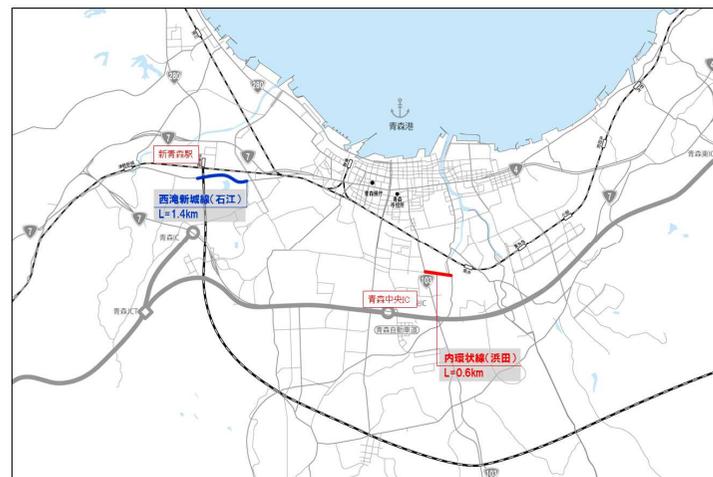
パッケージ1(八戸市)



パッケージNo. 2 都市内交通の円滑化と拠点への連絡強化を促進する街路整備

■対象地域	青森県、むつ市、青森市				
■事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 東北新幹線新青森駅への連絡強化を促進し、都市内交通ネットワークの形成を図る 弘前市中心市街地の主要幹線道路の整備によりネットワークを形成し、交通渋滞解消と中心市街地へのアクセス向上を図る 東北縦貫自動車道青森中央ICへの連絡強化を促進し、都市内交通ネットワークの形成を図る 				
■事業の成果目標	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大				
■成果目標の定義	①中心部(むつ市役所)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。 ②主要な交通拠点(東北縦貫自動車道青森中央IC)へ10分以内に到達できる市街化区域面積の割合。				
■アウトカム指標の算定式	$\left(\frac{\text{拠点へ10分以内に到達できる市街化区域面積}}{\text{市街化区域面積}} \right) \times 100$				
■指標の現況値及び目標値		H31当初	中間目標値(R3末)		達成度 (実績/計画)
			計画	実績	
	①	42.4%	42.9%	42.9%	
②	13.0%	13.0%	13.0%	13.0%	100.0%
■対象とする事業	街路事業				
■主な路線	3・4・2号 西滝新城線(石江)、 3・4・1号 横迎町中央2号線、 3・2・2号 内環状線(浜田)				

パッケージ2(青森市)



パッケージ2(むつ市)



【横迎町中央2号線の部分供用状況】

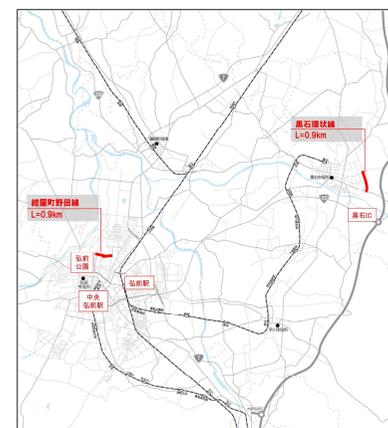
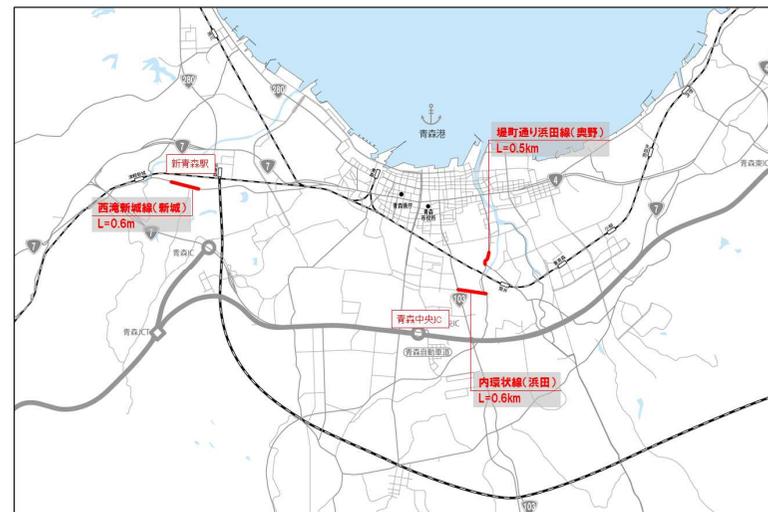


【西滝新城線(石江)供用状況】

パッケージNo. 3 通学路の安全を確保する街路整備

■対象地域	青森県、黒石市、青森市				
■事業の目的	・緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置づけられた通学路の整備を促進し、安全・安心な通学路を確保する				
■事業の成果目標	緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置づけられた通学路の整備を促進し、通学路の整備率を15.0%にする				
■成果目標の定義	①緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置づけられた通学路の整備率				
■アウトカム指標の算定式	$(\text{対象済み箇所延長} / \text{要対策箇所延長}) \times 100$				
■指標の現況値及び目標値		H31当初	中間目標値(R3末)		達成度 (実績/計画)
			計画	実績	
①	0%	15.0%	13.4%	90.0%	
■対象とする事業	街路事業				
■主な路線	3・4・2号 西滝新城線(新城)、 3・5・4号 堤町通り浜田線(奥野)、3・4・20号 紺屋町野田線、 3・4・7号 黒石環状線、3・2・2号 内環状線(浜田)				

パッケージ3(青森市)



パッケージ3
(弘前市、黒石市)

事業箇所 凡例	
事業名	延長・面積



【黒石環状線の部分供用状況】



【堤町通り浜田線の整備状況】

社会資本総合整備計画 中間評価書

計画の名称	インターチェンジや新幹線駅等へのアクセス性向上を図る街路整備												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	青森県, 八戸市												
計画の目標	東北新幹線八戸駅、東北縦貫自動車道ICへのアクセス性向上と都市内交通ネットワークの形成を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	7,800	A	7,800	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R3末	R5末
1	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北新幹線八戸駅)へ10分以内に到達できる市街地(用途地域)面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる用途地域面積 / 用途地域面積 × 100	4%	4%	5%
2	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北縦貫自動車道八戸IC)へ10分以内に到達できる市街地(用途地域)面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる用途地域面積 / 用途地域面積 × 100	16%	16%	19%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・3・8号白銀市川環状線 (尻内)(21-A2)	街路整備 L=1.3km	八戸市						6,440	-	
	A01-002	街路	一般	八戸市	直接	八戸市	区画	新設	八戸駅西地区(3・4・27 松森高田線外)(21-A1)	区画整理 A=96.7ha	八戸市						1,360	-	
												小計						7,800	
												合計						7,800	

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制 青森県都市計画課が実施	中間評価の実施時期 令和4年度
	公表の方法 県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・3・3・8白銀市川環状線（尻内）は整備中であり、アクセス性に変化はない。 ・八戸駅西地区（3・4・27松森高田線外）は整備中であり、アクセス性に変化はない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	八戸駅10分圏域内市街化区域面積の割合	
	中間 目標値	4%
	中間 実績値	4%
2	八戸IC10分圏域内市街化区域面積の割合	
	中間 目標値	16%
	中間 実績値	16%

社会資本総合整備計画 中間評価書

計画の名称	都市内交通の円滑化と拠点への連絡強化を促進する街路整備											
計画の期間	平成31年度 ~ 令和05年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	青森県,むつ市,青森市											
計画の目標	東北新幹線新青森駅、東北縦貫自動車道青森中央IC及びむつ市役所への連絡強化を促進し、都市内交通ネットワークの形成を図る。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,938	A	1,938	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33中間	H35末
1	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北新幹線新青森駅)へ10分以内に到達できる市街地(用途地域)面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる用途地域面積 / 用途地域面積 × 100	26%	%	26%
2	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 市中心部(むつ市役所)へ10分以内に到達できる市街地(用途地域)面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる用途地域面積 / 用途地域面積 × 100	42%	43%	45%
3	主要拠点へ10分で到達できる市街地の拡大 主要な交通拠点(東北縦貫自動車道青森中央IC)へ10分以内に到達できる市街地(用途地域)面積の割合。現地走行調査又は交通各種調査により算出する。 (割合) = 拠点へ10分以内に到達できる用途地域面積 / 用途地域面積 × 100	13%	13%	13%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・2号西滝新城線(石江)(22-A1)	街路整備 L=1.4km	青森市						16	-	
	A01-002	街路	一般	むつ市	直接	むつ市	S街路	新設	3・4・1号横迎町中央2号線(22-A2)	街路整備 L=1.0km	むつ市						633	-	
	A01-003	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	新設	3・2・2号内環状線(浜田)(22-A3)	街路整備 L=0.6km	青森市						1,289	-	
											小計						1,938		
											合計						1,938		

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制 青森県都市計画課が実施	中間評価の実施時期 令和4年度
	公表の方法 県ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・3・4・1号横迎町中央2号線の整備により、むつ市中心部へのアクセス性が向上した。 ・3・2・2号内環状線（浜田）は事業中のため、青森中央ICへのアクセス性に変化はない。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	中間 目標値	%
	中間 実績値	0%
むつ市役所10分圏域内市街化区域面積の割合		
2	中間 目標値	43%
	中間 実績値	43%
青森中央IC10分圏域内市街化区域面積の割合		
3	中間 目標値	13%
	中間 実績値	13%

社会資本総合整備計画 中間評価書

計画の名称	通学路の安全を確保する街路整備（防災・安全）												
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	青森県,黒石市,青森市												
計画の目標	緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置づけられた通学路の整備を促進し、安全・安心な通学路を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	5,775	A	5,775	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	R3末	R5末
1	歩道の設置や拡幅によって、緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにおいて要対策箇所と位置づけられた通学路の整備率を15.0%にする。 要対策箇所と位置づけられた通学路の整備率 (整備率) = (対策済み箇所延長) / (要対策箇所延長) × 100	0%	15%	15%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	-	避難行動要支援者名簿の提供	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・2号西滝新城線(新城)(24-A1)	街路整備 L=0.6km	青森市						1,110	-	
	A01-002	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・5・4号堤町通り浜田線(奥野)(24-A2)	街路整備 L=0.5km	青森市						639	-	
	A01-003	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・20号紺屋町野田線(24-A3)	街路整備 L=0.9km	弘前市						2,497	-	
	A01-004	街路	一般	黒石市	直接	黒石市	S街路	改築	3・4・7号黒石環状線(24-A4)	街路整備 L=0.9km	黒石市						743	-	
	A01-005	街路	一般	青森市	直接	青森市	S街路	新設	3・2・2号内環状線(浜田)(24-A5)	街路整備 L=0.6km	青森市						786	-	
											小計						5,775		
											合計						5,775		

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制

青森県都市計画課が実施

中間評価の実施時期

令和4年度

公表の方法

県ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・3・5・4号堤町通り浜田線や3・4・7号黒石環状線の整備により、通学路の整備済み延長に進捗が見られる。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	中間 目標値	15%
	中間 実績値	13%
	要対策箇所と位置付けられた通学路の整備率	
	当初計画していた事業予定に対し、事業が進まなかったことから、目標とする整備率に満たなかった。	